

令和3年度事業報告書

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

特定非営利活動法人フォレストフォーピープル岡山

1 事業の成果

令和3年度は、主たるテーマを『一人の百歩より、百人の一步』とし、身の回りの自然保護活動、ゴミ拾い、車ではなく自転車で出かける、小グループ（家族や子どもたち）との自然体験に出かける等、持続可能な社会の構築に向け、会員個人でできることをコツコツと積み上げていくことを目標とした。

一方、新型コロナウイルスの影響により、引き続き、事業規模の縮小や、実施内容の制約等を余儀なくされたが、会員の皆様や地域の皆様に支えられ、できる範囲で少しでも事業に取り組めたことに感謝し、その成果を以下にまとめる。

(1). 「自然を育む人づくりの推進」

➤ 森づくりの推進活動

- ◇ 会員及び過去の研修参加者（フォレスター）を対象に、高粱美しい森の森林整備を定期的実施
 - 各イベント実施前の諸準備段階における危険木撤去作業支援等を中心に計画。プロの実践技術を間近に体感しながらスキルアップを図る。
 - 会員による、企業による森林整備活動等への指導・サポートスタッフ参加機会の拡充

(成果)

コロナ禍の中、2回のフォレスターの日を開催することができた。参加者数は、少なかったものの、会員以外の参加者もあり、充実した活動となった。

➤ 自然観察会等の開催

- ◇ 自然観察会、キノコ狩り、自然体験活動等の開催

(成果)

コロナ禍のため、キノコウォッチングは中止とした。



(2). 「新しい活動スタイルの提供」

➤ 集合型ではなく、会員個人の日常での活動を後押しできる仕組みづくり

- ◇ フェイスブックの中に会員相互の活動を報告・応援し合えるオンラインサロンを作る
- ◇ 会員個人で取り組んだ林産加工物の販売等のサポート
HP及びSNS、オンラインサロンを通じた販売促進
ふるさと納税の返礼品としての可能性を検討

(成果)

林地残材を活用した、薪・炭のに販売を行うことができた。（売上：35,000円）
オンラインサロン等の構築は出来なかった。

(3). 「企業連携を軸とした森づくり活動の推進」

➤ 企業の社員参加者に対する賛助会員募集の声がけの実施

(成果)

ENEOS社およびBESS社の2社による森林保全・体験活動を実施することができた。コロナ禍により、規模は大幅に縮小されたが、参加者との距離感が近くなり、より一体感のある事業となった。



2 令和3年度 寄付金受入状況

・あいおいニッセイ同和損保 様	250,000円
・個人 様	3,500円

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 森林・林業体験イベントの開催事業（緑のインターン事業）

※あいおいニッセイ同和損保寄付金充当事業

日時	内容・（場所）	備考	参加者数
8月21日	フォレスターの日 ・雑木林整備	自主事業	10名
2月2日	フォレスターの日 ・マツ林整備、道具の整備	自主事業	10名
(中止)	チェーンソー・刈払い機 講習	コロナ禍のため自粛	- 名

② 学校教育との連携による森林環境教育等の実施事業

未実施

③ 自然観察会の開催事業（フィールドミュージアム事業）

日時	内容	備考	参加者数
(中止)	キノコウォッチング	コロナ禍のため自粛	- 名

④ 林産物の加工事業

・炭・薪の販売を実施した。

⑤ 企業による森林・林業研修の受け入れ事業

日時	内容	備考	参加者数
11月13日	ENEOS 미래の森づくり	国土緑化推進機構	約60名
11月21日	BESS 展示場における森林体験	BESS	約30名

その他事業：なし